



Window

2021 · 3 · No34



- 台湾（天灯 てんとう） -



理事長
田中陽早

が、ワクチンの
予防接種の効
果を期待し、通
常の生活・社会
活動ができるよ
う願つておりま
す。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が国内外で猛威を振るい、国は二度の緊急事態宣言を発出し、感染拡大防止に努めました。具体的には、学校の休校、人が多く集まる施設の使用制限、不要不急の外出自粛、飲食店等の営業時間の短縮を要請や外国人の入国規制などの感染防止策が講じられました。これらの取り組みは、市民生活や社会活動に大きな影響を与えております。

当協会でも、本年度に計画していました力レーベュッフェ、そうめん流し、世界の料理教室などのイベントは、三密を避けるために全て中止としました。

また、九州大学の留学生を小学校に派遣する出前講座（NEXT50事業）も、「授業時間を確保できない。」などの理由で中止とさせていただきました。

当協会としましては、このような状況の中でも活動できる会員拡大事業を今年度の重点事業に位置付け、理事・役員を中心取り組みました。2月末現在ですが、個人・家族会員¹⁰⁴人、事業所・団体会員19社が新しく会員に加入していただきました。

来年度も新型コロナウイルス感染症が収束するのか不透明ですが、ワクチンの

「」のねいせつ